

授業アンケート **FURIKA**

フィードバック活用マニュアル
～学位(教育)プログラム責任者～

福岡大学
教育開発支援機構

目次

1. 学位（教育）プログラムの質保証の必要性



2. 学位（教育）プログラム責任者とは



3. フィードバック情報に関する説明



4. フィードバック情報の取扱いについて



5. 留意事項・その他



内部質保証システムとは？

- **PDCA サイクル**等の方法を適切に機能させることによって、質の向上を図り、教育・学習その他サービスが一定水準にあることを大学自らの責任で説明・証明していく学内の恒常的・継続的プロセスのこと。（大学基準協会『大学評価ハンドブック』より）

PDCAサイクルとは、Plan（計画）、Do（実行）、Check（測定・評価）、Action（対策・改善）の仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めようという概念。



内部質保証システムが有効に機能しているとは？

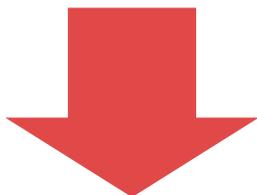
- 責任を持つ全学組織が存在する
(かつ、それが下部の諸組織と**有機的に連携**している)
- 自律的な**課題**解決・自己改善機能がある
- DPに即した学習成果を多角的に測定・把握している
(現状のモニタリングと**課題**の発見を行っている)



内部質保証システムが有効に機能しているとは？



ミクロ（科目）レベルの問題を、教員個人が改善するだけのFD



例) 満足度や到達度の低い科目の担当教員個々人に改善を促す



プログラムレベル、システムレベルの問題を、
プログラム責任者の責任のもとで**組織的に改善**するFD

例) カリキュラムがDPをより効率的に学べるものなるよう改訂する
DPに到達するうえで課題となっている部分を発見し、改善する



学位（教育）プログラムに求められる取り組み

- 学生たちがDPに沿った学習成果をあげているかどうかを多角的に把握し、課題を抽出すること

FURIKAの「プログラム責任者向け」
フィードバック情報の活用が可能

- 責任組織（自己点検・評価推進会議）や教学に関する全学組織（教育推進会議）と連携し、個別課題の全学共有や全学的課題・個別的課題への解決に向けた協力を行うこと



他大学の事例（学習成果の把握）

立命館大学

- DPの到達度を総合的に測って成績評価を行うような科目を置いている（直接評価）

淑徳大学

- 学生が学期ごとに「学士力（がくしりょく）ルーブリック」で自己評価（間接評価）

目次

1. 学位（教育）プログラムの質保証の必要性



2. 学位（教育）プログラム責任者とは



3. フィードバック情報に関する説明



4. フィードバック情報の取扱いについて



5. 留意事項・その他



学位（教育）プログラム責任者とは

学位（教育）プログラム責任者とは、**プログラムの点検・改善についての責任者**のこと。プログラムに含まれる科目のフィードバック情報を閲覧できる権限を有する。

学位（教育）プログラム・・・

学位を取得させるにあたり、当該学位のレベルと分野に応じて達成すべき能力を明示し、それを修得させるように体系的に設計した教育プログラムのこと。（文部科学省HPより）

プログラムの点検・改善・・・

プログラム内の授業がDPに基づいて行われているか、プログラムは期待した成果をあげているか、DP・CPは適切等の観点によるプログラムのチェック作業や、プログラムに係るさまざまな教育改善活動のこと。



学位（教育）プログラムに求められる取り組み

- 学生たちがDPに沿った学習成果をあげているかどうかを多角的に把握し、課題を抽出すること

FURIKAの「プログラム責任者向け」
フィードバック情報の活用が可能

- 責任組織（自己点検・評価推進会議）や教学に関する全学組織（教育推進会議）と連携し、個別課題の全学共有や全学的課題・個別的課題への解決に向けた協力を行うこと



学位（教育）プログラム責任者 設定手続き

- プログラムの点検・改善には「DP・CPの見直し」作業も含まれることから、**原則的には教務委員会で認められた「DP・CPの見直しに係る学位（教育）プログラム責任者」をFURIKAのプログラム責任者閲覧権限者に登録**しています。





学位（教育）プログラム責任者 設定手続き

- 閲覧権限を「DP・CPの見直しに係る学位（教育）プログラム責任者」とは別に対象者の登録を希望する場合は、教授会等で機関決定のうえ教務課（機構担当）までご連絡ください。対象者にFURIKAのフィードバック情報の閲覧権限を付与します。

 「DP・CPの見直しに係る学位（教育）プログラム責任者」と「FURIKAのプログラム責任者閲覧権限者」が早期に同一者となるよう、各プログラム内での調整をお願いいたします。

目次

1. 学位（教育）プログラムの質保証の必要性



2. 学位（教育）プログラム責任者とは



3. フィードバック情報に関する説明



4. フィードバック情報の取扱いについて



5. 留意事項・その他



主な機能（レポート機能）

- 学位（教育）プログラムの概況を、できるだけシンプルな操作で把握できるよう設計

✓各科目の到達目標は、学位（教育）プログラムのDPに関連付けられている



✓授業アンケートFURIKAでは、各科目の到達目標の到達度を確認している



✓授業アンケートFURIKAによりDPの到達状況を様々な角度から把握できる



レポート機能で何が分かるか

FURIKA

メニュー

○プログラム責任者用メニューのトップページ

実施時期 年度 前期

共通・専門

全体

「学部全体」は学部の全プログラムを集計したものです。全体の概略の把握にご活用下さい。

配当年次別

「配当年次別」の表示では、特に学年によって学生のパフォーマンスに大きな差が生じていないかどうかを重点的にご確認ください。

学生数別

「学生数別」の表示では、特にクラス規模によって学生のパフォーマンスに大きな差が生じていないかどうかを重点的にご確認ください。

講義演習別

「講義演習別」の表示では、特に授業形態によって学生のパフォーマンスに大きな差が生じていないかどうかを重点的にご確認ください。

DP別

「DP別」の表示では、DPの 카테고리によって学生のパフォーマンスに大きな差が生じていないかどうかを重点的にご確認ください。

学んだことCSV出力

「学んだこと」をCSV形式で出力します。

教員コメントCSV出力

「教員コメント」をCSV形式で出力します。

■ オプション機能

科目一覧

「科目一覧」の表示では、科目ごとのアンケート結果の詳細を確認できます。

教員一覧

「教員一覧」の表示では、教員ごとのアンケート結果の詳細を確認できます。



レポート機能で何が分かるか

- 全体として、学生はDPにどの程度到達しているか
- 各DP (or タイプごとのDP) の到達状況に偏りはないか
- どれくらいの科目・到達目標が各DPに関連しているのか
(ex. **配当年次、授業種別、クラス規模ごとに偏りはないか**)
- クラス規模・授業種別で学生の学習成果はどのように異なるか
(ex. 成果があがる or 課題のある規模・形式はどこか)
- 「学んだこと」「教員コメント」をCSV形式で出力し確認できる
- 具体的に成果があがっている・課題のある・課題を解決している科目はどこか



参考：ログイン方法

① FUポータルにログイン

福岡大学 F Uポータルにアクセスし、
福大ID（多要素認証基盤） のアカウントでログインする。

② 「FURIKA」を選択

上部メニュー右端にある緑色のボタン
FURIKA を選択。



参考：ログイン方法

③ 「分析(レポート)」を選択





参考：ログイン方法

④ 「実施時期」「共通・専門」を選択

FURIKA

メニュー

実施時期 授業アンケート ●●●年度 前期 ▼

共通・専門 ●●学部 ▼

全体 「学部全体」は学部の全プログラムを集計したものです。全体の概略の把握にご活用下さい。

配当 「配当年次別」の表示では、特に学年によって学生のパフォーマンスに大きな差が生じていないかどうかを重点的にご確認ください。

学生数別 「学生数別」の表示では、特にクラス規模によって学生のパフォーマ



参考：設問③-2,3の回答結果について



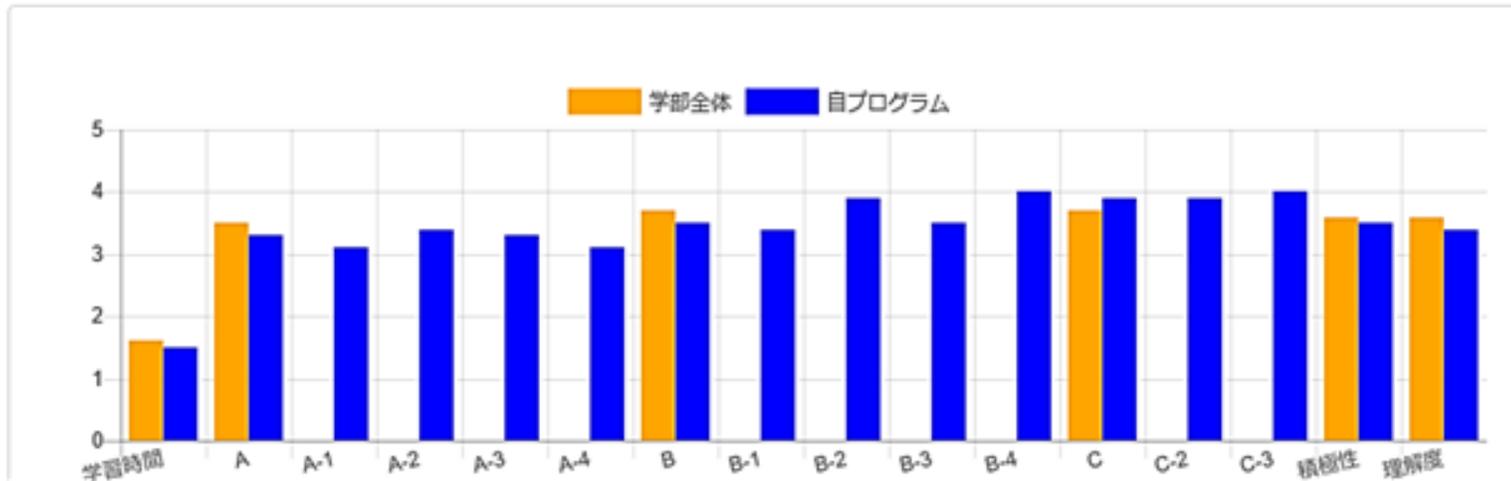
遠隔授業の良かった点、課題点については、プログラム責任者機能では閲覧できないため、別途ご案内いたします。



[全体]のページ (1/3)

授業アンケート ●●● 年度 前期 ●●学部 ●●●●学科 : 全体

- ・「学部全体」は学部の全プログラムを集計したものです。
- ・原則として、青色のグラフ（棒グラフ、T図）は自プログラムを、オレンジ色のグラフ（棒グラフ、T図）は学部全体を意味しています。
- ・DPグラフは、学部の全プログラムのDPをA：「知識・理解」、B：「技能」、C：「態度・志向性」の三つのカテゴリーに類別して表示しています。
- ・DPグラフは、それぞれのDPに関連する科目がどれくらいあり、学生たちがどれくらい到達していると考えているか、を示します。「目標到達度」は「各DPに関連する科目数×5」、「到達度」は「各DPに関連する科目数×その科目における受講生の平均到達度」で算出しています。
- ・T図は縦軸と横軸の関係を示し、色が濃いほどそこに分布する学生数が多いことを意味しています。「DP総合到達度」は、まず「A-1」、「A-2」、...、等の平均値を算出し、次にそこから「A全体」、「B全体」、「C全体」の平均を算出し、最終的に各全体の数値の平均として算出しています。





[全体]のページ (1/3)

棒グラフについて

- 「学部全体」がオレンジ、「自プログラム」が青で表示されます。
- グラフが表示されていない項目があります。
- DPはプログラムごとに異なるため、各DPに関する集計値は「自プログラム」についてのみ表示しています。
- そのDPに関連する科目が存在しない場合、「自プログラム」の当該DPの項目も表示されません。

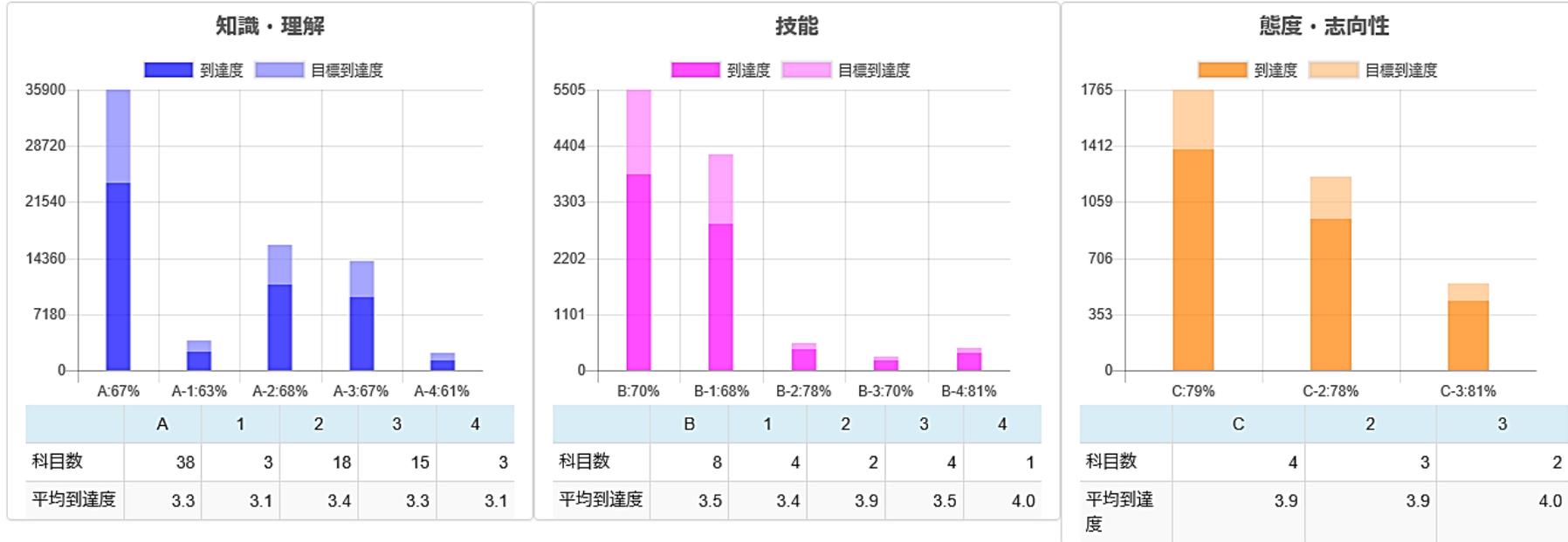
グラフの先端にマウス(カーソル)を合わせると以下のように詳細が確認できます。





[全体]のページ (2/3)

DP到達度・自プログラム



DPグラフでは、それぞれのDPに関連する科目・到達目標（縦軸の数値）がいくつあるか、それぞれのDPに関して学生がどれくらい学んだと判断しているか、示すものです。バランスが大きく崩れていないかどうか、を主にご確認下さい。



[全体]のページ (2/3)

DPグラフ「目標到達度」について

DP到達度・自プログラム



- 「目標到達度」は、そのDPに関する到達目標の数を示しています。
 - ☞ そのDPに関連する到達目標の全てで、学生の到達度がすべて最大だった場合、グラフ全体が濃い色になります。



[全体]のページ (2/3)

DPグラフ「到達度」について

DP到達度・自プログラム



- 「到達度」は、そのDPに関する到達目標について、学生がどれくらい到達しているかを示しています。

👉 個々の科目の学生の到達度の平均の累積を示しています。



[全体]のページ (2/3)

■ 活用方法について

- DPグラフをプログラム全体の適切性や、所期の目的が達成されているかどうかの確認 (= **カリキュラム・マネジメント**) に役立てていただきたいと考えています

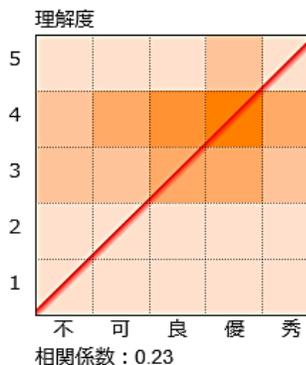
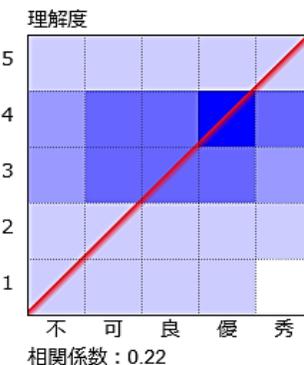
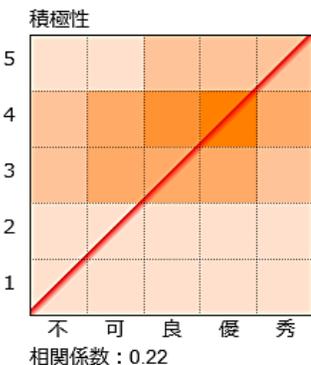
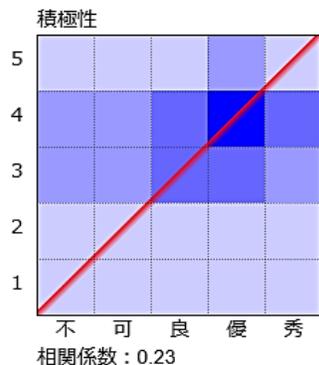
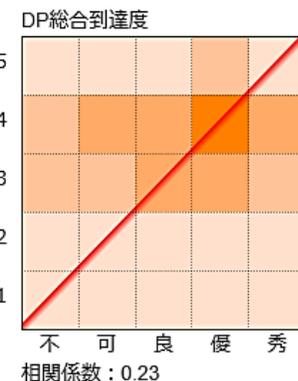
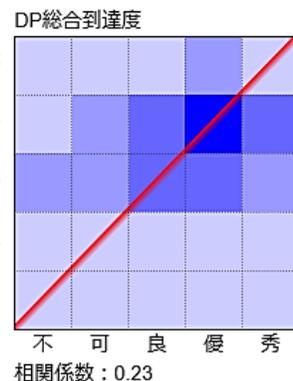
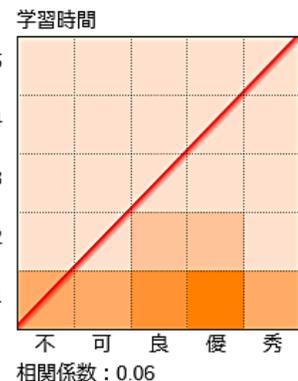
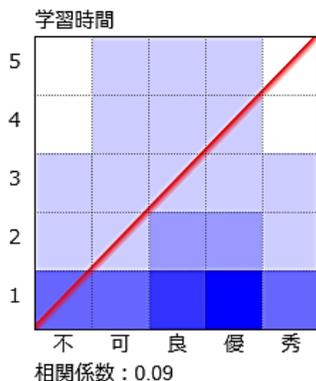
■ 将来的な方向性について

- それぞれのDPに記載された能力を身につけるには、どれくらいの科目数が望ましいのか
- どれくらいの到達度が必要なのか
- 1科目につき、いくつの到達目標がいくつのDPに関連付けられているべきなのか

各学位（教育）プログラム、
DP・CP検討委員会、教務委員会
等で検討？



[全体]のページ (3/3)



- T図では、学生の分布状況が分かります。オレンジが「学部（全体）」、青が「自プログラム」です。全体と自プログラムとの比較や、直感とズレがないかどうかの確認にご活用下さい。

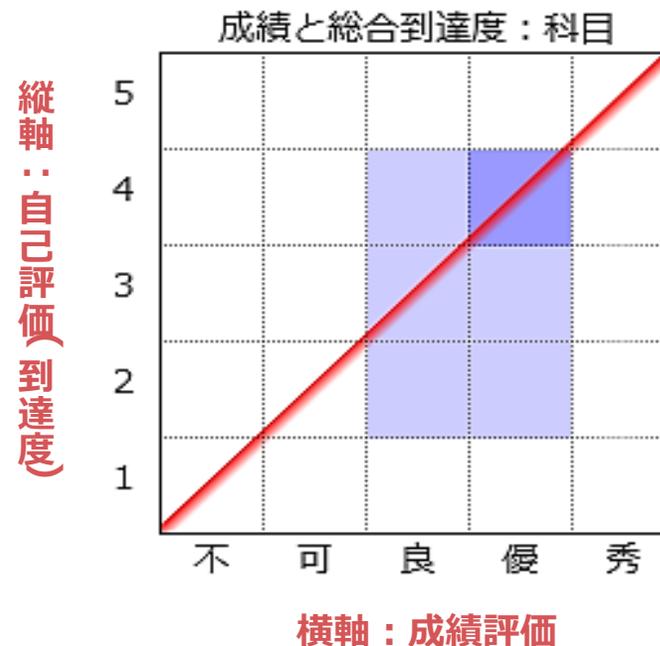


[全体]のページ (3/3)

T図について

- 縦軸と横軸の関係を示す
- 色が濃い = 学生数が多い
 - 色の濃さは5段階 
 - 5名未満のマス目には着色せず、白色のまま
- 縦軸となるもの
 - DP総合到達度、学習時間、積極性、理解度
- 横軸となるもの
 - 成績

その授業の到達目標への
平均到達度





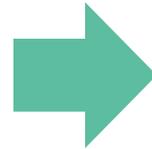
相関係数について

- 学生の「自己評価」と「成績評価」に大きなズレが見られる場合・・・



外れ値（全体の傾向から大きく外れた回答）による可能性もあります

- 「到達目標」が求める能力について、教員側と学生側で理解に齟齬がある
- 「到達目標」への到達基準について、教員側と学生側で理解に齟齬がある
- 「到達目標」が求める能力と、成績評価によって確認している能力に齟齬がある



- 「到達目標」の記述内容をより分かりやすく誤解のないものに
- 「到達目標」への到達基準について、アンケート前の「授業の総括」で説明を行う
- 成績評価の方法、内容などを見直す



[配当年次別][学生数別][講義演習別]の各ページ

基本のグラフ

- 「全体」のページだけでなく、「配当年次別」「学生数別」「講義演習別」のページについても表示されるのは、

- ◆ 棒グラフ
- ◆ DPグラフ
- ◆ T図

が基本です。



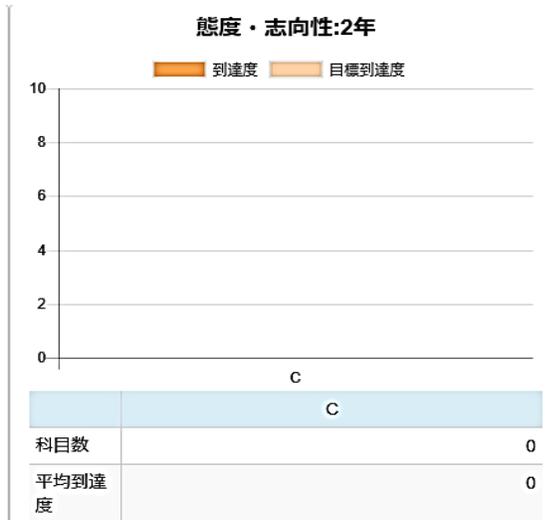
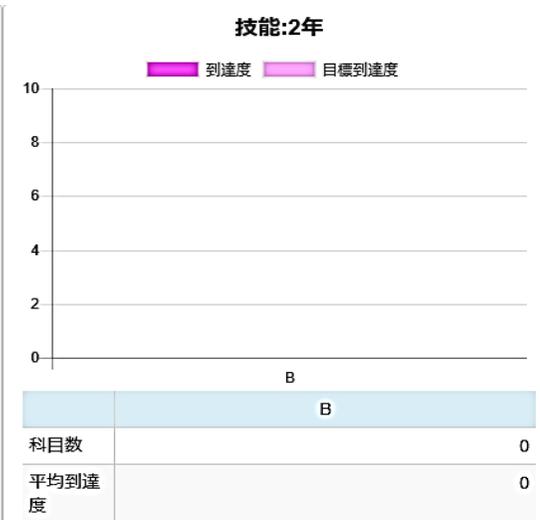
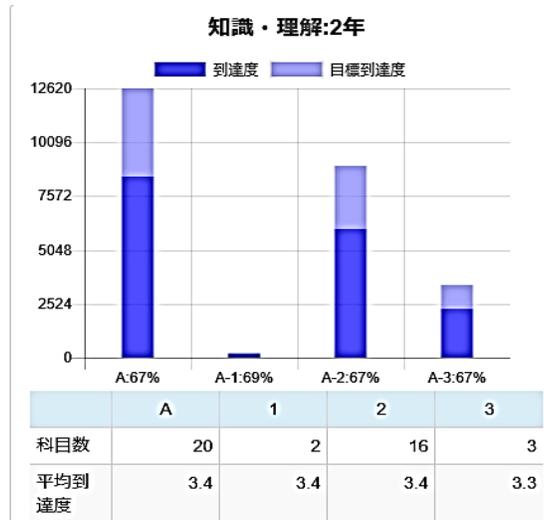
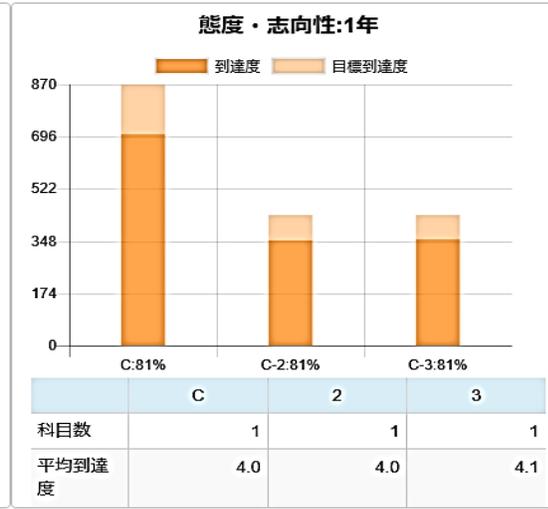
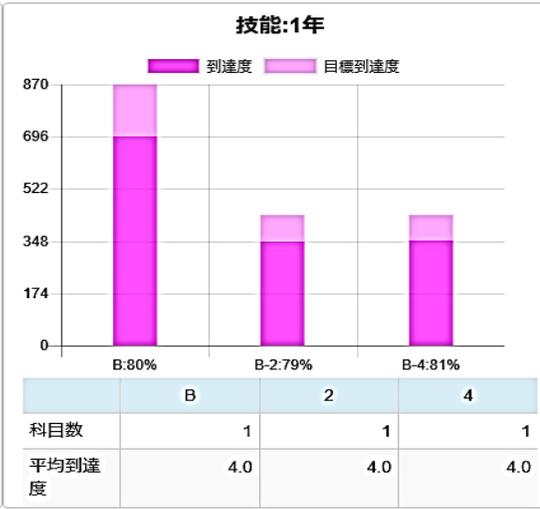
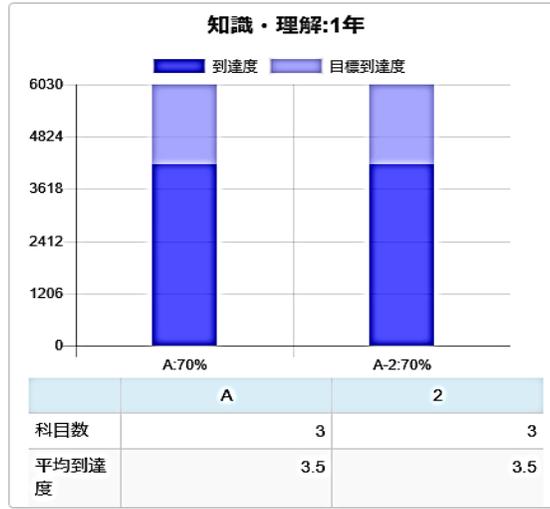
[配当年次別][学生数別][講義演習別]の各ページ

活用方法

- 表示されるグラフ（特にT図）の数がかなり増えます。
- 一つ一つを詳細に見る、という活用ではなく、特に際立った特徴や変わった点がないかどうか（異常や課題の有無）をチェックする、というスタイルでのご活用をおすすめいたします。



[配当年次別]のページ





[配当年次別]のページ

確認できること

- グラフから、配当年次ごとに各DPに対応する科目の数が違うことが確認できます。
- 特にDPグラフが配当年次ごとにかかなり異なっている可能性があります。

活用方法

- 各学年での学習で目指されているDPの割合やバランスが適切かどうかを中心にご検討いただくのが望ましいかも知れません。



[学生数別][講義演習別]のページ

確認できること

- 学生数が少ない授業や演習型の授業の方が、学習時間が長くまた、学生たちはより適切に自己評価を行えているようです（成績と自己評価の相関が高め）。

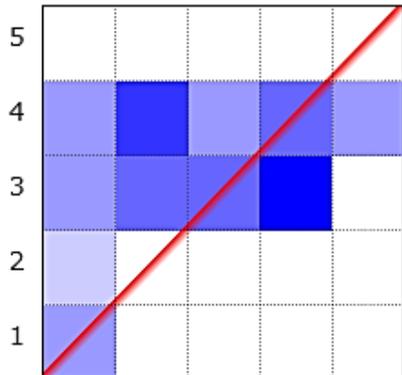
活用方法

- それぞれの規模、タイプの授業で学生がどのような学習成果を得ているか、の全体像の把握や、特徴の把握、課題の発見にご活用下さい。

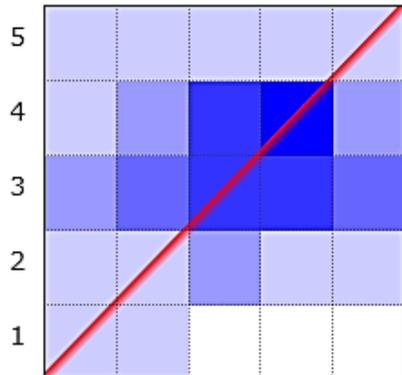


[DP別]のページ

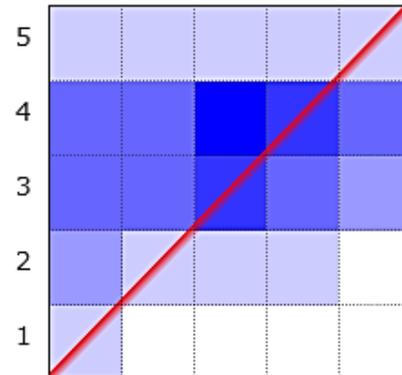
知識・理解 : A-1



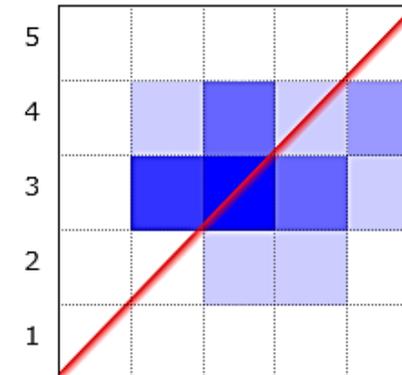
知識・理解 : A-2



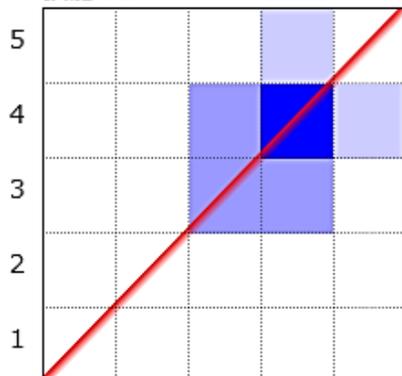
知識・理解 : A-3



知識・理解 : A-4

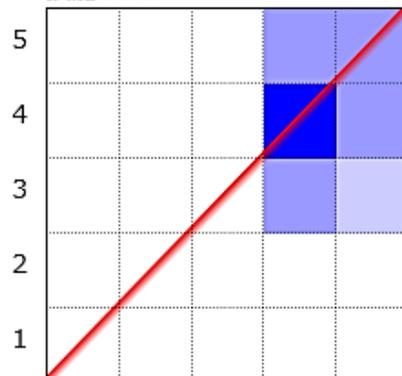


技能 : B-1



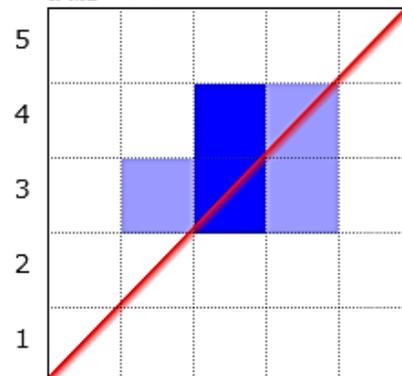
相関係数 : 0.33

技能 : B-2



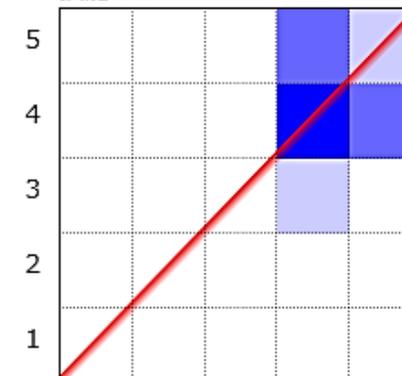
相関係数 : 0.14

技能 : B-3



相関係数 : 0.24

技能 : B-4



相関係数 : -0.04



[DP別]のページ

確認できること

- 「DP別」のページでは、T図のみの表示となります。
 - 回答結果をDP別に集計した棒グラフ、DPグラフは「全体」のページですでに表示されていますので、そちらをご確認下さい。
- 学習成果が上がりにくいDP、自己評価が難しいDP（授業設計の難しいDP）などをご確認いただけます。



[科目一覧][教員一覧]のページ

- 「科目一覧」・「教員一覧」は、プログラムの全ての科目・教員の回答結果の概略を**カテゴリー**ごとに序列化して表示できる機能です。

表示できるカテゴリー (全て平均値)

アンケート全体 (全項目) / DP
総合到達度 / 各DP / 学習時間 /
理解度 / 積極性

FURIKA 上へ

メニュー / 科目一覧

授業アンケート ●● 年度 前期 ● 学部 ●●● 学科 : 科目一覧 PDF出力はこちら PDF

アンケート全体 ▼

全46件

・「科目一覧」の表示では、科目ごとのアンケート結果の詳細を確認できます。
・「科目平均値」はそれぞれの科目の回答平均値を次のように算出して表示しています。まず、A-1、A-2、・・・、B-1、B-2、・・・等の到達目標が複数ある場合、まず「A-1」の平均値を算出、「A-2」の平均値を算出、・・・、「B-1」、「B-2」、・・・等を行った上で、そこから「A全体」、「B全体」、「C全体」の平均を算出します。次に、「A全体」、「B全体」、「C全体」の平均から「DP総合到達度」を算出します。最終的に、「学習時間」、「DP総合到達度」、「積極性」、「理解度」の平均から「科目平均値」を算出しています。その科目における学生のパフォーマンスを示すひとつの尺度ではありますが、あくまで目安の一つとしてご利用下さい。

No	科目コード計	科目クラス名計	教員計	受講者数	科目平均値計
1	7030900170-01	科目A	○○○○	2	4.4
2	7030000418-01	科目B	○○○○	31	4.2
3	7030000420-01	科目C	○○○○	31	4.2
4	7030000418-02	科目D	○○○○	37	4.0
5	7030000454-01	科目E	○○○○	64	4.0
6	7030000461-01	科目F	○○○○	147	4.0
7	7030002003-01	科目G	○○○○	140	4.0



[科目一覧][教員一覧]のページ

- 基本的には、「課題解決」のためのご活用を想定して設計しています。

例えば、ある学位（教育）プログラムで、レポート機能の各グラフを確認した結果、①「**学習時間**」が短い、②**大規模クラス**の到達度が低い、③**DP「A-3」、「C-2」**への到達度が低い、の三つの課題があることが分かった場合・・・



①「**学習時間**」が長い教員・科目をピックアップする、②**到達度の高い大規模クラス**をピックアップする、③**DP「A-3」、「C-2」**への到達度が高い教員・科目をピックアップする、などして、そのノウハウをFD等で共有するなどの課題解決が可能です



[科目一覧][教員一覧]のページ

[科目一覧][教員一覧]の活用にあたって

- 「科目一覧」・「教員一覧」機能をプログラム責任者が利用できるようにするかどうかは、それぞれの学部、プログラムごとにご判断をお願いいたします。
- 機能の活用を希望される場合は、適宜、教育開発支援機構事務課までご連絡ください。ご連絡をいただいたうえで、そのプログラムの「科目一覧」・「教員一覧」の機能を解放させていただきます。

目次

1. 学位（教育）プログラムの質保証の必要性



2. 学位（教育）プログラム責任者とは



3. フィードバック情報に関する説明



4. フィードバック情報の取扱いについて



5. 留意事項・その他



お願い事項

- 「科目一覧」・「教員一覧」の機能活用の可否に関する決定に併せ、これまで説明いたしましたプログラム責任者向けの各種フィードバック情報につきましても、プログラム内で共有するかどうか、のご判断をプログラム内でご検討下さいますようお願いいたします。
- プログラム内での合意に基づく限り、各種フィードバック情報は学内で共有いただけます（学内公開可）。ただし、学外への公開は、機構長の許可を要します。

目次

1. 学位（教育）プログラムの質保証の必要性



2. 学位（教育）プログラム責任者とは



3. フィードバック情報に関する説明



4. フィードバック情報の取扱いについて



5. 留意事項・その他



共通教育、教職課程について

- 各種の説明文は、「**学部**」「**学位（教育）プログラム**」向けの文言となっております。適宜、読み替えて下さいますようお願いいたします。
- 共通教育は「**学部**」にあたるカテゴリとして「**共通教育（全体）**」、「**学位（教育）プログラム**」にあたるカテゴリとして「**教養・保健体育**」と「**外国語**」を用意しています。
- 教職課程は、「**学部**」にあたるカテゴリとして「**教職課程（全体）**」を用意しています。



各種マニュアルについて

各種マニュアルについては、下記のURLよりご参照ください。

- 2021年度前期 授業アンケートFURIKA 教員用マニュアル
<https://fukuoka-u.app.box.com/s/520xmnf58kwygyoq23jepw1nvjloxvyn>
- 2021年度前期 授業アンケートFURIKA 学生用マニュアル
<https://fukuoka-u.app.box.com/s/84m0li7hx19eha58vqyexw8czjs1vep5>

「授業アンケート FURIKA（フリカ）」

フィードバック活用マニュアル～学位(教育)プログラム責任者～を
ご覧いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

FURIKA に関するお問い合わせ先

福岡大学 教務課（機構担当）（A棟地下1階）

E-mail : furika@ml.fukuoka-u.ac.jp

内線 : 2852・2853